

<プレスリリース>

2022年(令和4年)7月22日

硫酸協会

2022年度(令和4年度)第1回総合硫黄源対策ワーキンググループの結果について

去る7月21日(木)に硫酸協会 会議室 Webにて、硫酸協会、その会員代表、関係団体並びに輸出関係の商社を委員とし、経済産業省の関係部局をオブザーバーとして標記ワーキンググループ(事務局 硫酸協会)が開催され、添付資料のように2022年度(令和4年度)の硫黄および硫酸の需要見通しが策定されましたので公表致します。

お問合せ等がございましたらご連絡のほどお願い致します。

【添付資料】

資料 No. 1-1	2022年度(令和4年度)総合硫黄源(硫黄分)需給見通し	[概要]
No. 1-2	〃	[一覧表]
No. 1-3	硫黄の輸出実績	
No. 2-1	2022年度(令和4年度)総合硫黄源(硫酸分)需給見通し	[概要]
No. 2-2	〃	[一覧表]
No. 2-3	硫酸の輸出実績	

2022 年度(令和 4 年度)総合硫黄源(硫黄分)需給見通し概要

1. 概要

(1) 供給

生産量は 1,446 千トン（前年度比 99.3%）で減少する見通し。

(2) 需要

国内需要量は 506 千トン（前年度比 98.5%）で減少する見通し。

(3) 輸出

輸出量は 941 千トン（前年度比 102.5%）で増加する見通し。

(4) 全体

上記結果を前年度と比較すると、期初在庫は 24 千トン増加し、生産が 10 千トン減少し、供給全体では 14 千トンの増加の見通しである。一方、国内需要は 8 千トン減少し、輸出は 23 千トン増加するため、期末在庫は 1 千トン減少する見通しである。

2. 内訳

(1) 供給

石油精製からの回収硫黄生産量は、燃料油需要の低下などを考慮し、上期 664 千トン（前年同期比 99.3%）、下期 781 千トン（同比 99.3%）、年度計では 1,446 千トン（同比 99.3%）となり、減少する見通しである。

(2) 内需

- ① 二硫化炭素：上期、下期とも前年度より増加を見込む。
- ② 加工硫黄：上期が前年度より増加し、下期が前年度より減少を見込む。
- ③ カプロラクタム：上期が前年度より減少し、下期が前年度より増加を見込む。
- ④ 硫酸原料：硫黄焙焼硫酸の生産の減少から、上期の硫黄需要が 149 千トンで、下期の硫黄需要が 141 千トンを見込み、全体では前年度より 22 千トン減の 290 千トンを見込む。
- ⑤ その他：無機薬品、化成品、紙・パルプ、飼料添加物用等は上期が前年度より減少し、下期が前年度より増加を見込む。

(3) 輸出

中国向けを中心に前年度を上回る 941 千トン（前年度比 102.5%）を見込む。

以上

2022年度(令和4年度) 総合硫黄源(硫黄分) 需給見通し

[単位:千トン]

		2018年度 平成30年度	2019年度 令和元年度	2020年度 令和2年度	2021年度(令和3年度)実績			2022年度(令和4年度)見通し			対前年度比
					上期	下期	計	上期	下期	計	
供給	期初在庫	134	140	183	177	191	177	201	199	201	113.7%
	生産	1,688	1,596	1,368	669	787	1,456	664	781	1,446	99.3%
	合計	1,822	1,737	1,551	846	978	1,633	865	981	1,647	100.9%
需要	国内需要	516	511	475	264	250	514	259	247	506	98.5%
	二硫化炭素	39	37	35	17	15	32	20	18	38	119.4%
	加工硫黄	18	18	15	7	9	16	8	8	16	97.5%
	石鹼洗剤	9	9	9	5	5	10	5	5	10	100.0%
	カプロラクタム	100	99	94	50	44	94	48	45	93	98.8%
	硫酸原料	303	288	267	154	157	312	149	141	290	93.1%
	その他	46	60	55	30	20	50	29	30	59	118.2%
	輸出	1,166	1,044	899	391	527	918	407	534	941	102.5%
合計	1,681	1,554	1,374	655	777	1,432	666	781	1,447	101.1%	
期末在庫		140	183	177	191	201	201	199	200	200	99.5%

注) 2022年度(令和4年度)の硫黄生産量および輸出力は硫酸協会の推測値

硫黄の輸出実績

[単位 S トン]

年度	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	20(R2) 上期	21(R3) 上期	対前年 同期比
中国	1,021,664	1,050,496	983,161	1,027,035	1,140,925	1,057,275	943,058	837,452	736,977	652,176	382,333	287,522	75%
韓国	31,018	29,815	38,778	22,275	24,908	21,559	21,921	46,366	24,553	123,175	3,783	24,059	636%
台湾	1,700	11,125	1,345	30	21,228	8,033	16,034	12,116	31,484	45,102	15,488	21,990	142%
フィリピン	18,293		408	2,465	3,960	4,746	4,449	3,714	4,433	6,446	2,654	4,217	159%
タイ	800	1,719	12,991	15,022	9,842	9,025	7,728	3,883	5,606	4,758	3,376	2,913	86%
マレーシア					352	400	240						
ベトナム		2	4,398	7,195	15,893	16,687	14,308	8,490	3,761	3,074	1,746	1,313	75%
インドネシア	75,647	113,681	113,332	53,634	87,608	68,627	88,699	64,280	49,215	35,143	20,094	25,595	127%
インド	5	27,496	35,997	64,200	70,239	74,273	64,923	67,445	42,904	48,149	16,498	23,550	143%
トルコ					176	368	384						
ブラジル					432	435	224						
アメリカ					1,919	2,976	1,760						
イタリア					2,500	3,140	480						
スペイン						1,540	1,060						
その他			1	17	176	236	494	6	1				
計	1,149,127	1,234,334	1,190,411	1,191,873	1,380,158	1,269,320	1,165,762	1,043,752	898,934	918,023	445,972	391,159	88%

(財務省貿易統計)

2022年度(令和4年度)総合硫黄源(硫酸分)需給見通し

1. 概要

(1) 供給

硫酸生産量は前年度比 104.1%、247 千トン増の 6,293 千トンの見込み。

(2) 内需

国内需要量は前年度比 98.0%、64 千トン減の 3,187 千トンの見込み。

(3) 輸出

硫酸輸出量は前年度比 115.0%、415 千トン増の 3,176 千トンの見込み。

(4) 全体

上記結果を前年度と比較すると、期初在庫は 34 千トン増加し、生産が 247 千トン増加するため供給全体では 281 千トンの増加となる。一方、国内需要は 64 千トン減少し、輸出が 415 千トン増加し、期末在庫が 70 千トン減少する見込みである。

2. 内訳

(1)供給

2022(R4)年度上期では、銅製錬出の硫酸生産が前年同期比 2.0%増加し、亜鉛製錬出の硫酸生産が前年同期比 4.2%の増加で、下期の銅製錬出では、大型銅製錬所の定期修理の予定がなく、前年同期比 12.9%の増加で、亜鉛製錬出では前年同期比 0.8%の増加である。2022(R4)年度の製錬ガス全体では前年度比 106.4%、308 千トン増の 5,147 千トンを見込む。また、硫黄焙焼出では前年度比 94.4%、62 千トン減の 1,039 千トンを見込む。その他出では、前年度比 100.0%の 107 千トンを見込む。生産全体では前年度比 104.1%、247 千トン増の 6,293 千トンを見込む。

(2)内需

- ① 2022(R4)年度の副生硫酸は前年度比 3.2%減、リン酸肥料向けは同期比 22.4%減の見通しであり、肥料用全体では前年度 9.3%減の 230 千トンの需要を見込む。
- ② カプロラクタム向けでは、そのポリマーのナイロン 6 はナイロン繊維およびフィルム、成形品等に使用されているが、市場がやや低迷し、前年度比 98.0%、5 千トン減の 235 千トンの需要を見込む。
- ③ 酸化チタン向けでは、インキ・塗料用に使用されているが、市場がやや低迷し、前年度 1.0%減の 436 千トンを見込む。
- ④ 製紙関連、排水処理用の硫酸アルミニウム、フッ化水素酸、鉄鋼向けは前年度より減の需要を見込む。
- ⑤ 中和石こう向けは、都市部の再開発工事やリニア中央新幹線関連需要等が期待されるが前年度ほど伸びず、前年度比 99.0%、3 千トン減の 256 千トンを見込む。
- ⑥ 内需全体では 98.0%、64 千トン減の 3,187 千トンを見込む。

(3)輸出

2022(R4)年度の輸出量は、前年度より硫酸生産が上回り、内需が減少することから、前年度比 115.0%、415 千トン増の 3,176 千トンを見込む。輸出量の大部分は前年度と同様にフィリピンを中心とした、インド、タイ、チリ、アメリカ、台湾、マレーシア、トルコ、サウジアラビア、モロッコ向けを見込む。

以上

2022年度(令和4年度)総合硫黄源(硫酸分)需給見通し

[単位:H₂SO₄ 100% 千トン]

		2018年度 平成30年度	2019年度 令和元年度	2020年度 令和2年度	2021年度(令和3年度)実績			2022年度(令和4年度)見通し			前年度比
					上期	下期	計	上期	下期	計	
供給	期初在庫	262	216	291	236	306	236	270	200	270	114.5%
	生産	6,352	6,204	6,215	3,189	2,858	6,046	3,229	3,064	6,293	104.1%
	製錬ガス	5,112	5,073	5,135	2,573	2,265	4,839	2,634	2,513	5,147	106.4%
	銅出	4,352	4,330	4,422	2,215	1,896	4,110	2,260	2,140	4,400	107.0%
	亜鉛出	760	744	713	359	370	728	374	373	747	102.6%
	硫化鉍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	硫黄焙焼	1,076	1,013	966	557	544	1,101	537	502	1,039	94.4%
	その他	164	118	115	58	49	107	58	49	107	100.0%
合計	6,614	6,420	6,507	3,425	3,164	6,282	3,500	3,264	6,563	104.5%	
	肥料	265	268	244	123	131	254	116	114	230	90.7%
	カプロラクタム	232	210	216	117	123	240	115	120	235	98.0%
	酸化チタン	454	428	366	237	203	440	235	201	436	99.0%
	硫酸アルミニウム	260	253	237	124	123	247	122	122	244	99.0%
	フッ化水素酸	105	108	84	51	55	106	51	55	105	99.0%
	MMAモノマー	124	123	122	53	61	114	53	60	113	99.0%
	鉄鋼	33	38	36	22	22	44	22	22	44	99.0%
	紙・パルプ	92	88	72	41	40	81	41	39	80	99.0%
	中和石こう	241	258	243	134	125	259	133	123	256	99.0%
	鉍山・製錬	84	86	85	43	44	87	42	43	86	99.0%
	その他	1,532	1,422	1,350	712	666	1,379	701	656	1,357	98.4%
	国内需要	3,420	3,280	3,056	1,658	1,593	3,251	1,631	1,556	3,187	98.0%
輸出	2,977	2,849	3,214	1,461	1,300	2,761	1,669	1,507	3,176	115.0%	
合計	6,398	6,129	6,270	3,118	2,894	6,012	3,300	3,063	6,363	105.8%	
期末在庫	216	291	236	306	270	270	200	200	200	74.1%	

硫酸の輸出実績

(H₂SO₄ 100%, 1,000t)

年度	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	20(R2) 上期	21(R3) 上期	対前年 同期比
フィリピン	654.2	921.2	1,376.8	1,265.7	1,151.0	902.1	1,166.8	1,247.7	1,331.3	1,175.4	726.7	621.6	86%
インド	330.1	269.8	389.7	574.6	531.2	303.0	477.3	447.8	584.6	443.1	325.4	261.1	80%
タイ	79.8	178.1	132.5	199.3	249.0	251.8	282.8	210.4	276.8	308.1	132.3	140.2	106%
チリ	836.6	552.8	429.5	259.3	170.2	274.1	453.2	386.8	254.8	300.0	136.1	166.1	122%
アメリカ	0.0	0.0	0.0		0.0		11.5	57.7	170.7	129.2	94.2	73.0	78%
台湾	195.2	170.8	134.7	131.5	162.0	193.3	161.9	122.5	102.6	112.1	60.9	65.3	107%
マレーシア	44.3	68.2	47.8	80.9	99.4	173.7	143.0	135.2	146.9	90.1	79.9	47.6	60%
トルコ									18.5	45.2	18.5	9.3	51%
サウジアラビア										38.9		19.9	
モロッコ				20.0	19.4	19.2	18.9	47.4	83.5	36.8	64.9	18.6	29%
オーストラリア	199.3	102.0	82.8	58.5	57.3	10.0	55.4	40.5	10.5	20.6	10.5	10.5	101%
メキシコ	139.3	46.9	17.7	18.8	98.5	112.5			40.1	18.3	21.0		
アルゼンチン	13.0						19.8			18.3		18.3	
ベトナム	25.0	29.6	5.0	10.0	25.8	26.2	5.1	25.8	74.2	17.0	50.1	9.0	18%
中国	250.8	127.3	100.4	37.0	232.4	112.0	32.9	10.0	11.0	8.0	0.0	0.0	12%
韓国	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	124%
パキスタン					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
インドネシア	75.4	159.5	15.5	75.5	61.5	19.9	36.2	0.0	104.4	0.0	36.4	0.0	0%
シンガポール	18.9	14.1	3.6	15.5	12.7	6.3	2.9	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0%
バングラデシュ						0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	350%
その他	63.7	11.5	45.0	10.0	70.2	159.2	109.6	117.6	0.0		0.0		
計	2,925.6	2,651.8	2,781.0	2,756.6	2,940.6	2,563.5	2,977.4	2,849.5	3,214.5	2,761.2	1,757.0	1,460.7	83%